

「クラシノコアゲ応援団 2017 街頭行動」 第 16 弾

賃金の格差縮小を時代が求めている！

～女性が活躍できる環境整備が不可欠！～



初の「ユニックスビル」前で開催、16回目の街頭行動

連合福島は8月3日（木）16時30分より、福島駅前ユニックスビル北側交差点前にて、クラシノコアゲ応援団街頭キャンペーン第16弾行動を実施した。

主催2団体を代表して、



連帯の挨拶をいただいた、民進党福島県連代表代行金子恵美衆議院議員（左）、福島市議会会派社民党・護憲連合の羽田房男福島市議会議員



主催団体挨拶 連合福島今泉裕会長

になって来ているのも事実。今、働き方改革の一つに同一労働同一賃金が叫ばれているが、現実として正規と非正規が同じ賃金にはなり得ず、福祉厚生を除く賃金でみればまだ格差がある。正規と同じ仕事をしているのに賃金が違うという現実から、賃金の格差を縮めるのを時代が求めている。今、企業では女性の活躍が不可欠となっている。働く女性の労働環境を含め労働条件を整えなければ人口減少の中で企業は生き残れない。育

児・介護に対する女性の負荷が大きく、学校行事もほとんどがお母さんであり、家庭・職場内での理解がなければ女性の活躍する場が少なくなる。地道な取り組みではあるが皆さんの理解を得ながら取り組んでいく。現在、福島県最低賃金の審議が行われているが使用者側と労働者側の考え方に開きがある。今、時給1,000～1,400円という条件を出しても人材が確保できないところもあり、事務系やより良い労働条件を求めて人材が集中し、慢性的な人材不足が起きている。1円でも高い水準で決着できるようご支援ご協力を願いたい」と熱く訴えた。また、毎回継続して連帯している民進党福島県連から代表代行の金子恵美衆議院議員、福島市議会から社民党・護憲連合会派の羽田房男福島市議会議員に挨拶をいただいた。さらに、共催団体の県労福協より佐久間通事務局長が奨学金制度の拡充・強化を求めるアピールを行い、理解を求めた。尚、街頭では連合福島役員を含めチラシ入りティッシュを配り世論喚起を行った。



「奨学金制度の拡充」を訴える、県労福協佐久間通事務局長